

教皇フランシスコ、 祈りの時を主宰

教皇フランシスコは、3月27日の18時（日本時間28日午前2時）、聖ペトロ大聖堂の前庭で祈りの時を主宰することを表明しました。また、インターネットの動画配信によって、この祈りに霊的に参加するよう呼びかけています。

2020/03/27

カトリック中央評議会からの知らせ：[リンク](#)

動画配信リンク：[https://
www.youtube.com/watch?
v=VJHI8bI0LWg](https://www.youtube.com/watch?v=VJHI8bI0LWg)

次の金曜日、3月27日の18時（日本時間28日午前2時）には、同じ意向のために、聖ペトロ大聖堂の前庭で、無人の広場を前に、祈りの時を主宰します。コミュニケーション・メディアを通して、この時刻から霊的に参加するようお願いしたいと思います。わたしたちは神のことばを聞き、祈りをささげ、聖体礼拝を行います。その後、わたしは「ローマと全世界へ（ウルビ・エト・オルビ）」の祝福を送ります。その祝福によって、全免償（注）を受ける可能性が付与されます。

新型コロナウイルスのパンデミックに対して、全世界の祈りと思いやり、優しさで対抗していきましょう。一致を保ちましょう。独りぼっちで試練に立ち向かっている人々

が、わたしたちがともにいることを
感じられるようにしましょう。わた
したちは、医師や医療従事者、看護
師、ボランティアの皆さんに寄り添
います。わたしたちのためとはい
え、厳しい措置を講じなければなら
ない関係当局と、わたしたちはとも
にいます。わたしたち皆のために政
府が求めていることが遂行されるよ
う、路上で秩序の維持に努めている
警察官や兵士の皆さんに寄り添いま
す。わたしたちはすべての人ととも
にいます。

（注）「ウルビ・エト・オルビ」の
祝福に際して与えられる全免償は、
テレビやインターネット、ラジオを
通して、祝福にあずかり、自分の罪
を悔いて、定められた祈り（「使徒
信条」「主の祈り」「アヴェ・マリ
アの祈り」）を唱え、できるだけ早
く「ゆるしの秘跡」を受け、聖体拝
領することを約束することによって
受けられます。免償とは、すでにゆ

るされた罪にともなう有限な罰のゆるしです。成聖の恩恵の状態にあり、定められた条件を満たす者に、教会は免償を与えます。

.....

pdf | から自動的に生成されるドキュメント <https://dev.opusdei.org/ja-jp/article/inori-no-toki-o-shusai/> (2025/08/05)